

広報

February 2011
HONBETSU
Public Relations
NO. 988

ほんべつ



いいひと いいまち いきいき ほんべつ

2

羽ばたけ

新成人

門出を祝う成人式・成人のつどいが
1月9日に中央公民館で執り行われました

本別町体育協会創立50周年記念事業

6

本別町スポーツ講演会

国民年金コーナー

8

第六次本別町総合計画

Part21

- ハロー仙美里中学校……………9
- マイタウン……………10
- みんなの健康・銀河ホットライン……………14
- ご寄付ありがとうございます……………15
- 本のある暮らし・わたしたちのまち……………16





羽ばたけ新成人

本別町成人式・成人のつどい
1月9日(日) 中央公民館

今年の新成人は122人。
二十歳の門出を祝う「成人式・成人のつどい」が、1月9日中央公民館で執り行われ、十勝晴れに恵まれたこの日、晴れ着やスーツに身を包んだ新成人55人が出席しました。

本別義経太鼓保存会(藤川一三会長)が、勇壮な義経太鼓の鼓動を会場に響かせ、本別ボランティアクラブかめ(志戸田康代会長)が成人を祝う歌でオープニングを飾った今年の成人式。

式典では、若木佳則教育委員長が「これから長い人生を歩んでいく中、成功したり失敗したりとたくさん試練が待ち受けています。そんなときは受身の精神を忘れず、社会の一員として自分を磨き、自分の夢や希望に向かって、粘り強く挑戦し続けていただくことを願っています」と式辞を述べ、高橋正夫町長と方川一郎議長から激励やはなむけの言葉が贈られ、新成人達は真剣な面持ちで受け止めていました。

新成人を代表して坂入聡美さんが「一人の社会人として与えられた権利と果たさなければならぬ義務を正しく認識し、視野を広め多くの方々から愛され、信頼される人間としてその責務を果たすよう努力します」と誓いのことばを述べ、篠原悠人さんが「新成人交通安全宣言」を読み上げ、参加者は人生のスタート台に立った決意を新たにしました。

式典後、写真撮影に引き続き、本別町青年協議会(富川寛弘会長)の主催で「成人のつどい」が行われ、ビンゴゲームで盛り上がりながら、久しぶりの友人との再会を喜び合っていました。



- ① 誓いの言葉を宣言する坂入聡美さん
- ② 交通安全宣言を読み上げる篠原悠人さん
- ③ 式辞を述べる若木佳則教育委員長
- ④ 激励の言葉を述べる高橋正夫町長

感謝の気持ちも忘れずに

岩城 健太さん

人生の一つの節目である成人を迎え、大人として責任のある立場になりました。しかし、まだまだ成人を迎えたという実感はあまりありません。正直、うれしい気持ちもありますが不安もあります。成人としては至らない点も多くあり、一社会人として学ぶこともまだまだ数多く

あると感じます。たった一度きりの人生なので、大いに満喫し、自分の夢に向かって歩んでいこうと思います。しかし、その中にも、険しい道の間があると思えますが、それを越えることで成長し、自分自身を磨いていくことができると思います。また、現在大学に通い夢に一步でも近づけるように頑張っています。残り少ない学生生活を努力を惜しまず、有意義に過ごしていきたいと思えます。最後に今まで私を支えてくれ

た両親・そして多くの方々に感謝の気持ちを伝えたいと思います。社会に出る者としての責任をしっかりと噛みしめ、感謝の気持ちを忘れずにこれからの人生を歩んで行こうと考えています。



20歳の決意と夢

ありがとう

小川 聖奈さん

私は、小中高と本別の学校に通い、卒業してから本別で働いています。小さい頃から一緒だった友人とも卒業後は会う機会も減り、寂しく感じることもありましたが、今も変わらずみんなが大切な存在で、本別で生まれ育った中でできた絆を誇りに思っています。

二十歳になり、成人式を迎えた今、いつもそばにいてくれる友人や家族、お世話になってい

る職場の方々、これまで関わってきた人たちに、感謝の気持ちでいっぱいです。

社会人として未熟な部分ばかりですが、大人になった自覚を持ち、自立した生活を送っていけるよう、たくさんのことを学び、責任感や忍耐力を養い、立派な人間になりたいです。この先、困難や苦労にめげそうになっても、本別と一緒に育った仲間や、見守っていてくれる家族がいることを忘れずに、一度しかない自分の人生を、しっかりと自分の足で歩いていきたいと思っています。

将来への希望や不安もありますが、今、大切な友人たちと成人式で笑い合えること、それを祝ってくれる人がいることをうれしく思い、感謝しています。

最後に、私を育ててくれた父と母に「ありがとう」を伝えたいです。



成人のつと

ビンゴゲームで1番の石川 暁丈さん



▲ 乾杯の音頭は新成人の山下元貴さん





本別町体育協会創立50周年記念事業 本別町スポーツ講演会

きらめき・発想・未来

梨田流監督術に学ぶひとづくり

「きらめき・発想・未来～梨田流監督術に学ぶひとづくり～」と題した本別町体育協会創立50周年記念事業（実行委員会主催）本別町スポーツ講演会が1月16日、北海道日本ハムファイターズの梨田昌孝監督を招き、中央公民館で開催されました。会場には、町内外からファンなど約600人が詰めかけ講演に耳を傾けました。

ほめることで

人は成長する

現在のチーム作りの基礎は、父親を中学三年のときに亡くし、家計を助けるために始めた新聞配達での出来事と話す梨田監督。配達先の女性に、「頑張っているね」とほめられたことがすこくうれしかったことをあげ、人を成長させるためにちよつとした一言でもいいから、タイミングよく「ほめたり、励ます」言葉を掛けてあげてとアドバイスしました。また、プロの世界でも礼儀正しい選手は、みんなに可愛がってもらえ、困ったときは助けてもらえると強調。子どもにはあいさつしてほしいと礼儀の大切さについても触れました。

このような経験から、チームの士気を高めるために、連敗が続く肩を落とした元気の悪い選手を見ると、自ら選手の肩や尻をたたくて声を掛けたり、選手が奮起するような起用を心掛けているとチーム作りについて述べ、選手については、イチロー選手のように「毎年進化し、今の成績に満足しないこと」や「失敗に対する疑問を持つこと」が大切で、そういった壁を乗り越えることが自信につながる、と話しました。

最後に、今年のファイターズは盗塁阻止率を上げ、二番を強化していく。今年一年選手一丸となって戦っていくので、楽しみにしていってくださいと語りました。



野球少年団員にエール

講演前に中央公民館で実施された、町内三野球少年団員約四十人を対象とした交流会。梨田監督は、野球で大切なのは「相手の胸めがけて投げると正しいキャッチボール」と「積極的に打ちに行くバットイング」、「足の強化」であるとアドバイス。最後に、この中から、ファイターズに入団する選手が育つのを期待していますとエールを送りました。

国民年金 コトナ

その106

「ねんきん定期便」 をお届けしています

日本年金機構では、平成21年度より国民年金および厚生年金に加入している皆さんに、保険料納付実績や年金見込額などを記載した「ねんきん定期便」を、毎年誕生月に送付しています。

通知する内容

節目年齢時（35歳・45歳・58歳）の方々の①から⑥について更新した内容を通知します。

- ①年金加入期間（加入月数、納付済月数等）
- ②50歳未満の人には加入実績に応じた年金見込額。50歳以上の人には、ねんきん定期便作成時点の加入制度に引き続き加入した場合の将来の年金見込額（すでに年金受給中（全額停止中も含む）の人には通知しません）
- ③保険料の納付額（被保険者負担分累計）
- ④年金加入履歴（加入制度、事業所名称、被保険者資格取得・喪失年月日等）

- ⑤厚生年金のすべての期間の月ごとの標準報酬月額・賞与額、保険料納付額
- ⑥国民年金のすべての期間の月ごとの保険料納付状況（納付、未納、免除等の別）

その他の方々

右の①から③と⑤、⑥については、直近1年分を通知します。

ねんきん定期便をお受け取りになられた際は、加入記録・記載内容にもれや誤りがないか十分にご確認ください。訂正がある場合は、同封の「年金加入記録回答票」にて回答いただきますようお願いいたします。

ねんきん定期便に関するお問い合わせ

「ねんきん定期便専用ダイヤル」

0570-00588-1515

（IP電話・PHSからは

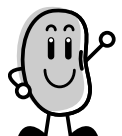
03-6700-1144）

受付時間

月曜日から金曜日

.....午前9時から午後8時

第2土曜日.....午前9時から午後5時



詳しくは

住民課戸籍年金担当へ

022-88128

HELLO 仙美里中学校



写真右から2人目が齊藤君



体育の授業で長靴アイスホッケーに使用するリンクの造成。厳冬の作業に公務補さん中心に取り組んでいます



地域ボランティアの一環として、今年度は仙美里地区公民館の清掃に取り組みました



全校生徒への学用品寄付を続けてくださっている仙美里町自治会の佐藤会長さん。生徒会を中心に交流が続いています

教育目標

向学 文愛 壮健

充実の冬季学習

冬季休業中も学習日に登校し熱心に学習を続けました。3年生5人の希望者が、8日間にわたり「学習日」に集中的学習。昼食持参で夕方まで 頑張る生徒に、受験に備え緊張感のある先生方の指導で充実した取り組みとなりました。

スケート全国大会へ

伝統のスピードスケートでも3年生が活躍です。1月の全道大会で齊藤楓君が長野で開かれる全国大会出場を決めました。「好記録を！」全校生徒が熱く応援しています。



立体の学習をした12月の校内研究授業。コンピュータと電子黒板、模型を使つてのまさに立体的な授業の試みです



後期避難訓練で、不審者対応について本別警察署員から実技の講習を受けました



選択音楽のミュージカル発表の一コマ。保育所のお子さんたちと素敵なクリスマスのひとときとなりました

地域のみなさんに支援を受けながら生徒・教職員一体となって学びを進めています
(後期の学校の様子から)

シリーズ 第六次本別町総合計画

Part21

次なるステージをめざして

第六次本別町総合計画

基本構想議決

平成二十三年度から十年間のまちづくりの指針となる「第六次本別町総合計画」の基本構想が、平成二十二年十二月定例議会で議決されました。総合計画は、教育・産業・福祉・都市基盤・環境・暮らしなど、町民生活のあらゆる分野にまたがる計画で、本別町が実施するさまざまな取り組みの指針となるものです。基本構想では、本別町のめざす将来像や目標など、まちづくりの考え方を示しています。

ともに学び
支えあい

活力あるまちづくり

まちづくりのテーマは、総合計画策定審議会委員が提案した「ともに学び 支えあい 活力あるまちづくり」としました。学ぶことの重要性を確認し、本町がこの間、進めてきた支えあいの精神を大切に活力のある元気なまちを創るこの思いからこのテーマとしました。

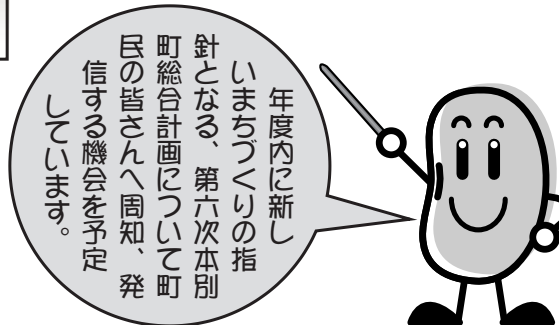
新しい本別町のまちづくりの姿



めざすまちづくりの実現のために

新しい本別町のまちづくりの姿を「樹」に例えました

『人材育成』『産業・雇用』『安心・安全・健康』『低炭素・循環型社会の形成』『財政基盤の確立』の五つを計画実現のための戦略としています。



※本別町総合計画基本構想の全文は、本別町ホームページで公開しています。本別町公式ホームページ「行政情報」をクリックしてください

【本別町公式ホームページアドレス】

<http://www.town.honbetsu.hokkaido.jp/>

総合計画についての問い合わせ

企画振興課 企画・生涯学習担当

☎ 22-8121



12 10・15・24

老人ホームに たくさんの慰問

12月10日、陸上自衛隊第五旅団第五高射特科中隊の隊員21人が、地域支援活動の一環として蛍光灯や窓ガラスなどの施設清掃を実施しました。15日には、本別餅つき保存会十五夜会（泉野健会長）が正月用のおもち15kgをお年寄りや職員と一緒につき上げ、24日には本別高等学校（松下龍一校長）の吹奏楽部やボランティア部、美術部の生徒らが、演奏などを通して入所者たちとの交流を図りました。このほか、毎月ボランティアの方々が同ホームを訪れ、歌を披露するなど入所者との触れ合いを楽しんでいます。



陸上自衛隊による施設清掃



本別餅つき保存会によるもちつき



本別高等学校吹奏楽部による演奏

初稽古に汗

11

毎年恒例の本別剣道連盟（鈴木清志会長）による元旦稽古会が1月1日、町柔剣道場で実施されました。参加した町内外の小学生から一般まで約30人の剣士は、気合の入った掛け声で初稽古に汗を流し、一年のスタートを切りました。



自己ベストを 目指し力走

13

本別スケート協会（北口義美会長）主催による第49回本別町スピードスケート記録会が1月3日、町民スケートリンクで開催されました。参加した町内の幼児から中学3年生までの47人は、父母らの声援を受けながら自己ベストを目指し力走しました。



スケートの 基礎を学ぶ

14

小学校就学前の幼児を対象とした幼児スケート教室（本別スケート協会主催）が1月4日、町民スケートリンクで実施されました。つるつるの氷と慣れないスケート靴に苦戦しながらも、参加した3歳から6歳までの約10人は、楽しくスケートの基礎を学びました。



消防出初め式

16

本別消防団（遠藤利之団長）の各分団による出初め式が1月5日、6日に実施されました。6日午後2時のサイレンを合図に始められた第1分団（角誠分団長、35人）の出初め式では、遠藤団長が「自らの郷土は自らが守ることを胸に、無火災、無災害を目指し、地域の安心安全確保に向けて郷土愛をもって役割を果たしてほしい」と訓示を述べ、団員らは防火の決意を新たにしていました。その後、団員と消防車両など7台が銀河通りから消防署までを分列行進しました。



ロールケーキ作り に挑戦

111

公民館講座「冬休み料理教室」が1月11日、中央公民館で開催され、町内の小学1年生から6年生までの12人が黄桃入りロールケーキ作りに挑戦しました。調理終了後には、出来上がったロールケーキをみんなでおいしくいただきました。



情報を広報担当へお寄せください 022-8121

七福神のちぎり絵が完成 17

小規模多機能型居宅介護施設「陽だまりの里」(高田初枝施設長)で、大きな宝船に乗った七福神のちぎり絵が完成しました。通所者が職員の書いた下絵をもとに、折り紙や包装紙などを小さくちぎり、色合いなどを考えながら張り付けて制作したもので、施設内は明るい雰囲気にも包まれていました。



農商工連携 人材育成セミナー 11

「商品化技術講習 地域資源を活用した食品ブランドの開発」と題した第5回農商工連携人材育成セミナーが1月11日、中央公民館で開催されました。参加した22人は、ワークショップ形式で本別産の素材を使った地域ブランド化に向けた積極的な企画を提案し、本別ブランドへのイメージを膨らませていました。



子ども将棋 百人一首大会 12

毎年恒例の第36回子ども将棋第17回百人一首大会(主催:本別町地域子ども会育成連絡協議会、本別町子ども将棋育成会)が1月12日、中央公民館と老人福祉センターで開催されました。将棋には、小学生4人が参加し、真剣な対局を繰り広げ、百人一首では4チーム15人の参加者が、読み手の声に集中し「ハイ」と札を取る気合いの入った声を会場に響かせていました。



牛乳を食べよう! 116

本別町牛乳消費拡大推進委員会(伏見重廣委員長)主催による「親子牛乳料理教室」が1月16日、中央公民館で開催されました。参加した16組37人の親子は、牛乳をたっぷり使った「牛乳なめらかプリン」「マカロン」「えだ豆のクリームパスタ」の調理に挑戦。出来上がった料理は参加者全員でおいしくいただきました。



勉強って楽しい 17・8

町内の小学1年生から4年生を対象としたまなびサポート教室が1月7日、8日の2日間、中央公民館で実施されました。北海道教育大学釧路校の学生8人が講師となり、子供たちが持ち寄った冬休みの課題や日ごろの勉強でわからないところをわかりやすく指導。参加した延べ37人の児童は、それぞれの課題に取り組みながら勉強の楽しさや自主学習の大切さを学びました。



図書館と資料館で 楽しい冬休み 11~14

小学生対象の冬休みを利用した講座が1月11日から14日の4日間、図書館と資料館で開かれました。小学1年生から6年生までの延べ50人の参加者は、映画を見たりペン立てを作ったほか、ビー玉を使った昔遊び、昭和初期の道具を使ったうどん作りなどを体験し、冬休みの楽しい一日を過ごしました。



昭和初期の道具でうどんを作る参加者(左)と講師の新津和一さん(右)

全道大会で健闘、全国へ 113

1月7、8日に帯広市で開催された第41回北海道中学校スケート大会に出場した町内3中学校の生徒6人が1月13日に役場を訪れ、高橋正夫町長に結果の報告をしました。選手からは「実力が足りずいい結果が出なかった。次は必ず全国へ行きたい」と全道大会の報告をしたほか、この大会で1月29日から2月1日に長野県エムウェーブで開催される全国スピードスケート大会出場の切符を手にした選手らは、「会場の空気に飲まれず、自分の滑りをして決勝に行きたい」と抱負を述べ、高橋町長は「自信を持って、最後まであきらめず練習の成果を発揮してきてください」とエールを送りました。



全道中学校剣士の模範に 121

1月7日から9日に千歳市で開催された全道中学校新人剣道大会に出場した本別中学校剣道部(府川諒祐主将)が1月21日、教育委員会を訪れ結果の報告をしました。初日、2日目の練習試合では、参加51チーム中10位、48チームが参加した3日目の大会では1勝1敗で予選リーグ敗退するも、大会中の礼儀や態度すべてが模範となる中学校2チームに贈られる礼節賞を受賞。選手らは「礼節賞を励みに今後も稽古を頑張りたい」と述べ、澤田満教育長は「礼節賞は本別の誇り。今後の活躍を期待します」と激励しました。



情報を広報電算担当へお寄せください ☎22-8121

みんなの健康

318

ました。二十一本以上歯がある人を基準とした場合、歯が〇本の人は約三倍がんのリスクが高まるという結果が出ています。この結果から、歯を多く保つことはがんの予防につながると思います。

欧米では、かねてからがんに関する研究が進んでおり、どういふメカニズムかは解明できていないものの、歯の健康状態とがんは関係あることがわかってきました。

歯の健康とがん予防

日本では、愛知県がんセンターで五千人のがん患者を含む一万六千人を対象に、歯の本数とがんのリスクについて調べたところ、頭頸部がん(舌がん、口腔がん、咽頭がん、喉頭がん)と食道がんで、歯の本数と関係があることがわかりました。

また、歯磨きとの関係を調べると、生活習慣、年齢、性別などに関係なく、一日二回以上歯を磨く人に対して、一回の人は一・二倍、一回も磨かない人は一・七倍、頭頸部がん、食道がんにかかるといふ結果でした。



がん予防のためには、適度な運動やバランスの良い食事、アルコールやタバコを控えることなどが挙げられますが、その一つに歯磨きも加えられると思います。歯磨きで健康な歯が得られ、そのおまけとして病気のリスクが下がれば、素晴らしいことだと思います。ぜひ、ご自身の習慣を見直していただきたいと思っています。

医療法人社団
河合歯科医院
院長 河合篤史

未来に輝く子どもたち

本別町の未来を担うかわいい星たちです。お父さん、お母さんのたいせいの愛に包まれてすくすく育ちます。



上本別

小笠原

輝くん
(愛ママ)



新生

江田

弘樹くん
(友香ママ)



山手町

澤田

佳嗣くん
(峰ママ)



錦町

中田

実紅ちゃん
(幸江ママ)



北八丁目

内田

圭亮くん
(美紀ママ)



中央小学校

渋谷

明日奈ちゃん
友理奈ちゃん
(博美ママ)



※写真は本人に了解を得た上で掲載しています

銀河ホップアラウンド

— 足寄町・陸別町から —

足寄町 子育て講座

子育ての不安や悩みを抱えている人はいませんか。穏やかな気持ちで子育てができるよう、子どもの反応の受け止め方をお伝えします。どなたでも参加できますのでぜひお越しください。



□とき 2月24日(木)

午前10時30分—

午前11時45分

□ところ あしよる子どもセンター

□講演 「穏やかな気持ちで子育てをするために」子どもへの反応の受け止め方

□講師 北海道大学大学院 田中康雄教授

足寄町役場福祉課保健福祉室 佐々木浩治 室長

□詳細 あしよる子育て支援センター

☎2514415

陸別町

自然を満喫しよう

第17回 歩くスキーの集い

暖かい春の陽射しを受けながら、日産自動車テストコースを歩くスキーで楽しんでみませんか。

□とき 3月13日(日) 午前9時30分—

□ところ 日産自動車(株)北海道陸別試験場

□定員 100人

□参加料 1人1000円(予定)

□申込期限 3月4日(金)

□申込先・詳細 陸別町教育委員会

☎2712123



ご寄付ありがとうございます

平成22年12月9日から平成23年1月11日

次の通りご寄付をいただきました。紙上をかりて厚くお礼申し上げます。(敬称略)

★図書購入費指定

金200,000円……………南2丁目 岡崎 勉

★本別町国民健康保険病院医療施設等整備基金指定

金100,000円……………南3丁目 平賀 博章

★本別町老人ホーム指定

タオル50本……………美里別東下1 河原真知子

タオル90本……………南2丁目

カサブランカ 代表 齋当ミツエ

ボックスティッシュ180箱……………十五辰年会 会長 菅野 明

★本別町特別養護老人ホーム物品購入費指定

金50,000円……………足寄町 長岡長五郎

★本別町体力増進センター整備費指定

金100,000円……………南3丁目 平賀 博章

広報ほんべつ 第988号

平成23年2月1日発行
印刷/本別印刷株式会社

本のある暮らし

119

新しい「本との出会い」

お誕生

12月後半から
1月前半の
届出分

中田 実紅^{みくちん} 和彦^{わひこ} 12/4 錦町
舩館 和奏^{わかに} 憲子^{けんこ} 12/21 南4丁目
澤田 佳翻^{けいご} 賢子^{けんこ} 12/21 山手町
野原 千華子^{ちかこ} 祐樹^{ゆうき} 友美^{ともみ} 12/27 北4丁目
道下 莖成^{いっせい} 誠^{まこと} 絵美^{えみ} 1/7 北6丁目

ご結婚

(方 川 洋一^{やういち} 美里^{みり} 別東上
平 田 亜華峰^{あかみね} 帯広市

おくやみ

西村 千枝子^{ちえこ} 85歳 12/18 南4丁目
田中 ユリ^{ゆり} 84歳 12/26 柳町
半澤 七郎^{しちろう} 73歳 12/29 新町
小野寺 富士雄^{ふじお} 75歳 1/2 北5丁目
鈴木 馨^{あつし} 77歳 1/5 北4丁目
高瀬 マサ^{まさ} 81歳 1/15 緑町

わたしたちのまち

前月比

人口 **8,394人(-15)**

男 **4,136人(-9)**

女 **4,258人(-6)**

世帯数 **3,899戸(-10)**

〔12月末日住民基本台帳〕

ミニ展示コーナー

図書館の入口に、ミニ展示コーナーができました。

季節の本、話題の本など、テーマを設けて選んだ本を展示し、貸し出しもします。ソファに座ってゆっくり本を読むことができ、今までどおり新聞や雑誌を読むこともできます。

1月は、千支にちなんで「卯年生まれのベストセラー作家」の本と「うさぎの絵本」を並べてみました。よく図書館を利用する人から「この作家、知らなかった」「読みながらじっくり選べて楽しい」と、好評です。本が書架に収まっている時とは違う表情を見せてくれるスペース…皆さんにとって新しい「本との出会い」の場になるかもしれませんね。

これから、さまざまな本を工夫しながら紹介していきますので、どうぞご利用ください。



展示コーナーで本を読む来館者

お問い合わせ先

本別町図書館

(愛称:ぶつくる一丸)

本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112

発行 本別町

編集 企画振興課
広報電算担当

住所 北海道中川郡本別町
北2丁目4番地1

電話 0156-22-8121
(直通)
FAX 0156-22-3237

ホームページ
<http://www.town.honbetsu.hokkaido.jp/>



資源を大切に——
広報ほんべつは、道産間伐材を使用しています。